

平成29年度 アンケート集計結果の考察

1 保護者用アンケートより

(1) 幼稚園

年々園児数が減少し、本年度は9名(年少2名、年中2名、年長5名)であった。アンケート結果を見ると、10項目中8項目については、肯定的な回答であった。否定的な回答があったのは、「4 子どもは、早寝早起きや朝食をとる習慣がついている。」(2名)。「5 子どもは、家庭で園の様子を話している。」(1名)であった。

なお、幼稚園における生活習慣の指導はもちろんのこと、家庭生活での習慣取得に向け、更なる保護者との連携を図っていく必要がある。また、家庭で園のことを話せるようよりいっそう楽しい園運営を心がけたい。

幼稚園での指導面については、「とてもそう思う。」との回答が多く、引き続き指導の充実に努めていきたい。

◎ 保護者からのご意見や感想等

- 日々、いろいろなことに気を配ってくださり楽しく幼稚園ライフが送れています。ありがとうございます。
- 子供の成長を親のように一緒に喜び、親身になっていただける先生方にとっても感謝しています。ありがとうございます。園児の人数が少なくなってきた、いずれ廃校になり江原南へ行かせるようになるのか心配しています。よろしくお願いいたします。

(2) 小学校

今回のアンケートの集計結果において、「あまりそう思わない」という回答がよせられたのが、「1 子どもは、楽しく学校に行っている。」(1名)、「そう思わない」との回答があったのは、「10 学校の施設や設備は、子供が生活しやすい環境になっている。」(2名)であった。「1」については、残る方は全員肯定的な意見であるが、1名とはいえ、あまり楽しくないとの回答があったことを真摯に受け止め、更なる児童理解を深め、楽しい学校づくりに努力したい。また、「4 早寝早起き・朝食」について6名、「2 気持ちのよいあいさつ」についても7名の方から否定的な回答が寄せられている。学校においても基本的な生活習慣の育成を図るべく指導し、また、児童会活動の指導充実の中で児童の主体的な挨拶運動なども行っているが、家庭等における生活習慣の確立を目指し、更なる家庭との連携を図っていききたい。

また、本校児童の課題である「8 健康な体づくり・体力の向上」については、全員から肯定的な回答が得られた事は喜ばしいことだが、目の前の子どもたちを見るとまだまだ取り組まねばならないとの思いがある。今後も家庭と連携し、取り組みの充実に努めていきたい。

◎ 保護者からのご意見や感想等

- 上級生が下級生の面倒を本当によく見てくれているなあと思います。なかよし班はもちろんのこと、個々においても、本当に親切で、思いやりのある子ども達だと思います。自分たちが優しく接してもらったことを忘れずに、一つ上の学年になってもみんなに親切に優しくできる心の持ち主になってもらえたらと思います。
- 北校は生徒数も少ないのでもっと南校と交流の機会を増やしてほしいと思います。
- 子供が学校のことを話さないため、7のこうもくは回答しかねます。
- 日々、いろいろなことに気を配ってくださり、ありがとうございます。
- 生徒数が少ない分、他学年と関わる時間も多いため、上級生を見習う気持ちや下級生をお世話する気持ちが自然に身に付きやすい環境だと思います。先生方は生徒一人一人を理解して下さるよう配慮していただき、クラスの雰囲気改善を常に見ていただき感謝しています。
- 先生方が子供たちの活動(水泳大会、陸上、ドッジボール、サッカー大会など)にすごく熱心に協力して下さっていることが、北校の良いところだと思います。他の学校の保護者の方にも、うらやましがられます。これからも続けてほしいと思います。

2 児童用アンケートより

○ 87%の児童が学校が楽しいと回答しているが、「あまりそう思わない」(5名)いる。楽しいと思わない理由は不明であるが、すべての児童が学校が楽しいと回答できるよう、絶えず生活チェックシート等を活用し、いじめ問題も含め全教職員の共通理解のもとで取り組んでいきたい。

○ 毎年「気持ちのよいあいさつ」の励行について指導してきている。また、児童会もあいさつ運動を行うなど自主的な取り組みも進めてきているが、否定的な回答が24%あった。一朝一夕に効果は表れないものではあるが、社会生活の基本であるあいさつについて、今後とも指導を続けていきたい。

○ 「自分で起床」や「就寝時間」について、36%が否定的な回答であった。学校での指導はもちろん、家庭との連携をより進めていきたい。

○ 家庭での「読書」の評価が低い。学校では、「読書タイム」を設け、また、保護者の方が読み聞かせを行ってくださっている。自主的・主体的な読書習慣の育成を目指し、委員会活動などの活性化を図りたい。

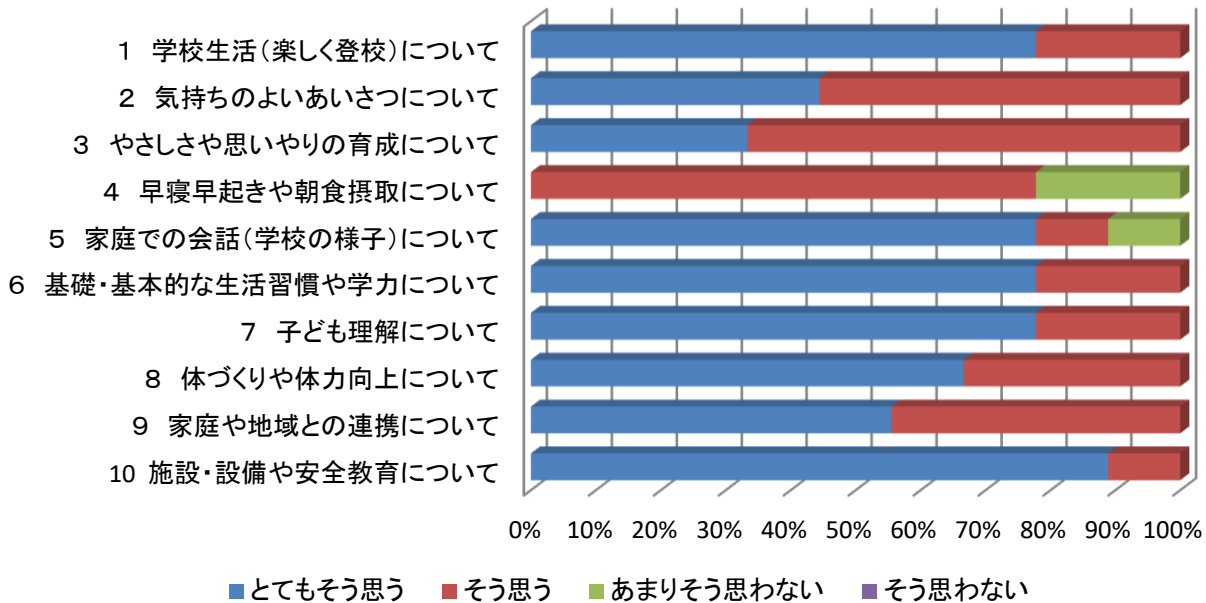
○ 学校や教師に対しての問いに対しては、ほぼ満足している児童が多い。今後も、「よくわかる授業」をめざし、きめ細やかな指導の充実に努めていきたい。

3 学校評議員による評価より

- 区域外就学者を減らすことができれば良いのだが。
- 子供たちは確実に成長している。大きな集団の中でもしっかりやっていけると思う。
- これまでと同様に小規模校、少人数学級の良さを生かした教育を推進してほしい。
- 平成31年度複式3学級となることを見据え、平成30年度間に行事等教育課程の見直しをしなければならない。

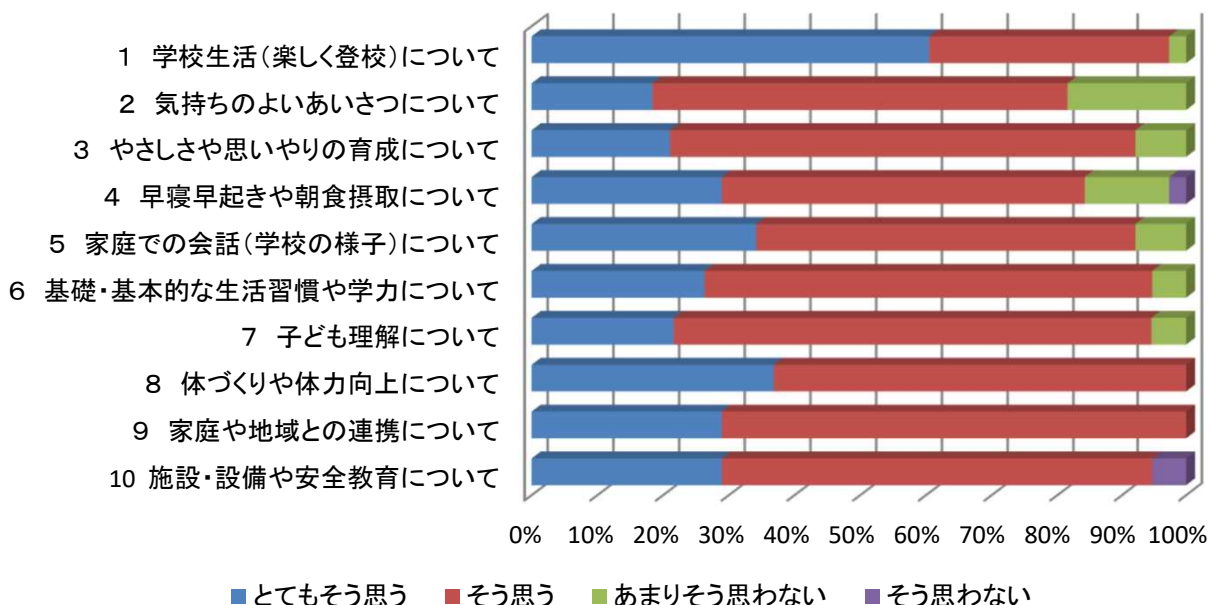
平成29年度幼稚園保護者アンケート

教育活動等アンケート保護者集計結果



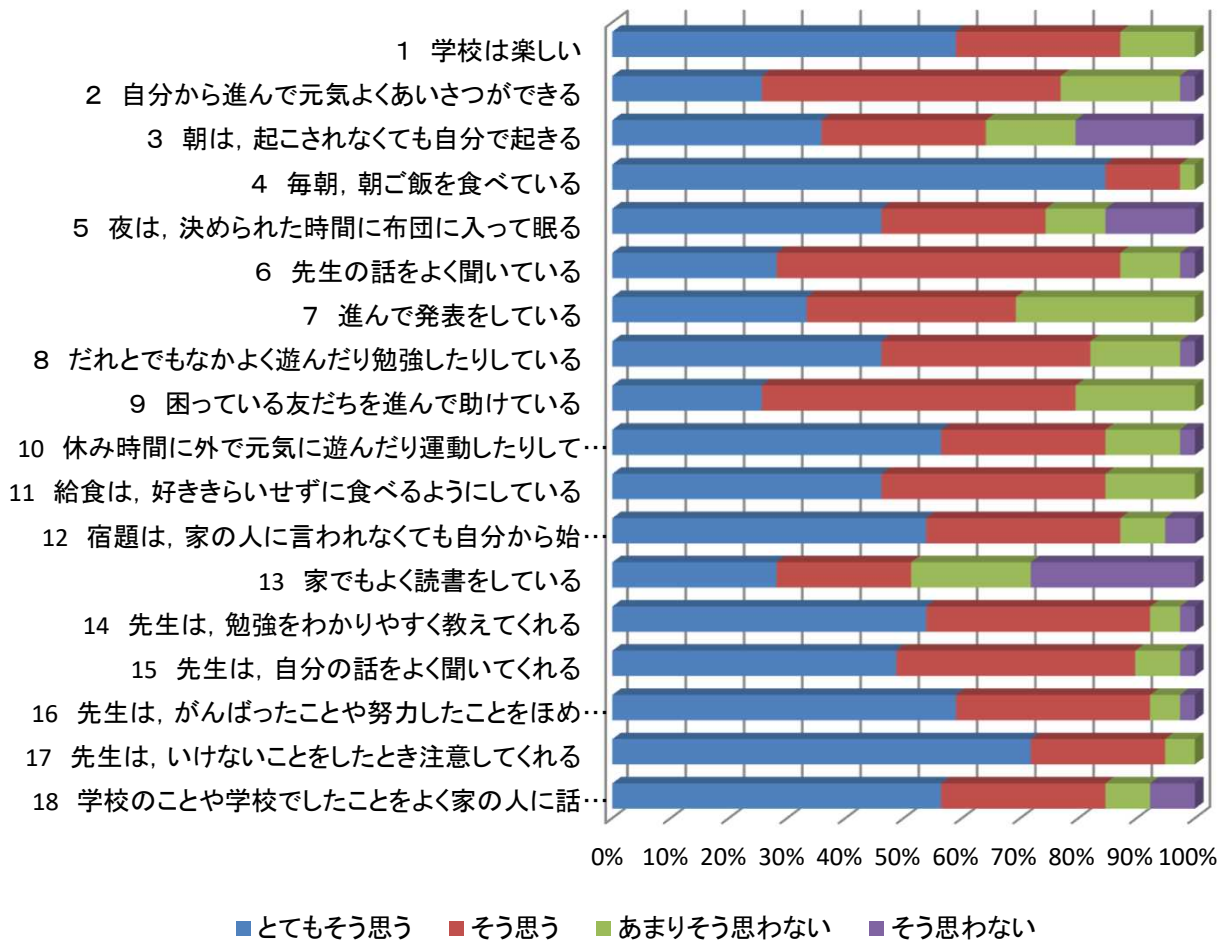
平成29年度小学校保護者アンケート

教育活動等アンケート保護者集計結果



平成29年度 児童アンケート

1年間をふりかえってみよう(児童集計結果)



平成29年度自己評価

教職員学校評価アンケート集計結果

